

気仙沼市の取組について

2025年9月29日
第2回地域働き方・職場改革等推進会議
気仙沼市長 菅原 茂

◆趣旨

気仙沼市では、市民100人の参加による「けせんぬま未来人口会議」での議論を踏まえ、人口減少緩和のための行動計画「けせんぬまWell-beingプラン2024」を令和6年5月に策定・公表しました。
プランは、毎年度ローリングすることとしており、75の掲載事業の進捗を確認し、見直した結果を「けせんぬまWell-beingプラン2025」として公表します。



「けせんぬまWell-beingプラン」の詳細については、二次元コードを読み取りの上ご覧ください。



◆本市の人口減少対策の基本的な考え方

ただ数を追うのではなく、人口減少を加速させる構造的な問題(要因)を明らかにし、総合的に解決

市民の「〇〇したいが、できない」を一つ一つ「できる」ようにしていく

『市民の暮らしやすさ(Well-being)』の実現

『地域の魅力が向上＝住み続けたいと思えるまち、住んでみたいと思われるまち』

◆実施状況(5つのテーマごとの事業例)【75の事業のうち、現在、69事業を実施・推進しています。】

“新産業進出”×“新ビジネス創出”×“既存産業成長”で「気仙沼で働きたい」を創り出す

雇用創出

- ・女性の起業支援補助金創設
- ・サテライトオフィス「ITベース大島アスナロウ荘」開設
- ・DX人材育成に向けた実践研修プログラムの実施
- ・女性向けスキルアッププログラムと就業支援の強化
- ・経営人材育成塾「躍進コース」
- ・市所有派遣職員宿舍活用による市内就職促進



企業ガイドブック

成果指標 大卒者向け合同企業説明会の参加者⇒30人(R6)
＜雇用創出協議会主催イベント＞

満足な条件と多様な選択肢で「自分らしく働ける社会」を創り出す

就労環境の改善

- ・「気仙沼市ジェンダーギャップ解消プロジェクト」発足
- ・「気仙沼市Well-being推進企業認定制度」(愛称：うえるびん認定制度)創設
- ・「気仙沼JOB BASE」開設(企業の総合相談窓口)



うえるびん認定



成果指標 市内企業の年間平均休日数⇒105日(R6)
＜企業ガイドブック2024掲載企業＞

あらゆるライフステージに寄り添い「誰もが住みやすいまち」を創り出す

居住環境の改善

- ・出産時交通費等助成事業
- ・不妊治療費等助成事業
- ・シェアハウスの整備促進
- ・特定健康診査受診率向上対策事業の強化(特定健康診査自己負担の無料化)



成果指標 「気仙沼は住みやすいまち」と思う人の割合⇒44.4%(R6)
＜市民の暮らしやすさ(Well-being)に関するアンケート＞

子育てしやすい「こどもの瞳かがやくまち」を創り出す

子育て環境の更なる充実

- 子育て支援「5つのゼロ」
 - ・小中学校の給食費ゼロ
 - ・保育所・幼稚園・こども園の給食費ゼロ
 - ・第2子以降の保育料ゼロ
 - ・学童保育の利用料ゼロ
 - ・保育所持機児童ゼロ
- ・子育て応援店認証制度
- ・教育パッケージによる子どもの未来への投資



成果指標 「気仙沼は子育てしやすいまち」と思う人の割合⇒45.5%(R6)
＜市民の暮らしやすさ(Well-being)に関するアンケート＞

情報と支援が満載！「帰りたい・移住したい」を創り出す

移住・定住の促進

- ・親子おためし暮らし(保育園利用型お試し移住)
- ・空き家取得費補助金制度創設(移住者・二地域居住者用)
- ・空き家リノベーションによるサード・プレイスの創出
- ・県内学生等向け「ふるさとワーキングホリデー」実施



成果指標 お試し移住参加者アンケートで「気仙沼市に移住する気持ちがある」と回答した人の割合⇒43.4%(R6)
＜移住・定住支援センターMINATO・利用者アンケート＞

就労環境改善に向けた、本市独自の企業認定制度を創設。
9月1日に令和7年度前期の認定企業25社に認定証を交付。

(※後期認定は11月4日から申請を受付し、3月1日に認定)

企業の具体的な取組を後押し
「くるみん」「えるぼし」認定の
ステップアップへと繋げる



うえるびん認定
7社



ゴールドうえるびん認定
10社



プラチナうえるびん認定
8社



➤ うえるびん認定を受けたいと思った理由

- ・採用活動でのアピールポイントにしたい
- ・企業イメージの向上を図りたい
- ・就業規則の見直しや就労環境改善・見直しのきっかけとしたい

➤ うえるびん認定の申請にあたって行ったこと

- ・就業規則の見直し・整備
- ・従業員への就業規則や福利厚生制度等の周知
- ・短時間勤務制度・テレワークの導入など
- ・専門家(社会保険労務士等)への相談

➤ 認定企業のインセンティブの活用方法

- ・ホームページや名刺等への認定ロゴマークの使用
- ・ハローワークの求人票への記載
- ・建設工事総合評価落札方式の評価点加算
- ・奨励金を活用した就労環境の改善や採用活動強化

<評価項目>【全25項目】

1 柔軟な働き方ができる【8項目】

労働時間縮減の取組推進、年休や法廷休業以外に独自の休暇制度を導入
テレワーク・短時間勤務・フレックスタイム等の導入 など

2 育児や介護と仕事の両立ができる【6項目】

育児休業や子の看護等休暇の取得促進の取組、出産後の継続在職率の向上
介護休業・休暇制度が取得しやすい取組の周知 など

3 性別に関わらず活躍できる【7項目】

男女同一基準での賃金・人事配置・昇進昇格などの取組
女性正社員の定着や管理職登用の取組、ジェンダーギャップ解消 など

4 その他【4項目】

職場の実態把握・意見聴取、健康やメンタルヘルス相談窓口の設置
不妊治療休暇制度の導入、ハラスメント防止の研修や対策 など

<認定のメリット>

1 最大50万円の 奨励金の支給

2 気仙沼市中小企業振興資金信用保証料 全額補助

3 両立支援等助成金の申請代行料 全額補助

4 建設行使総合評価案策方式の 評価点の加算

5 市公式サイトや企業ガイドブックでの PR

6 企業HPや名刺等に 認定ロゴマーク を使用できる

7 ハローワークの求人票に記載など 採用活動 に活用

令和7年6月2日 企業の相談支援機関として「気仙沼JOB BASE」を開設。



業務内容

- うえるびん認定制度の申請受付・審査
- 社会保険労務士への相談
- 市内企業の認知度向上支援
- 専用サイトの構築・運営

今後の予定

- ◇ うえるびん認定企業を対象としたインセンティブセミナー
- ◇ 市内高校向け事業
- ◇ 女性子育て層向け相談会

事業実績 (令和7年6月～9月)

1 窓口相談

- ▶ 相談件数：37件
 - ・ うえるびん認定に関する相談
 - ・ 両立支援制度の草案
 - ・ 就職・労働環境・その他

2 うえるびん認定対応

- ▶ 認定件数：25件

3 専門相談（社会保険労務士）

- ▶ 利用件数：1件

4 企業ガイドブック作成

- ▶ 掲載企業数：96社
- ▶ 発行部数：2,500部

5 合同企業説明会

- ▶ 開催：9月12日
 - ・ 主催：みやぎシゴトサポートセンター気仙沼
 - ・ 両立支援制度の草案
 - ・ 就職・労働環境・その他

6 専用サイト運営

- ▶ 6月2日開設

気仙沼市JOB BASE 公式サイト



7 その他

- ▶ ハローワーク気仙沼との定期MTG
- ▶ 中小機構の相談対応

就労環境改善に係る事業の相互関係イメージ



気仙沼市
ジェンダーギャップ
解消プロジェクト

- ・ 機運醸成
- ・ 課題共有・理解促進
- ・ ナレッジシェア



- ・ 総合的な相談支援
- ・ 情報提供・情報発信
- ・ 関係機関との連携



気仙沼市Well-being
推進企業認定制度
「うえるびん認定制度」

- ・ 取組推進の動機
- ・ インセンティブ
- ・ モチベーションアップ

誰もが働きやすく・働きがいがある就労環境を目指して更なる事業の連携を推進する。